◆6,100 万人の子どもが学校教育を受けられず、
7 億 5,800 万人の大人が読み書きができません。
◆2015 年、国連サミットで世界の国々の政府は 2030 年までに、だれひとり、とり残さず、質の高い教育が受けられるようにすることを約束しました。
◆世界のみんなで教育の大切さを学び、この約束が果たされるよう声を届けていくのが「世界一大きな授業」です。

ACCOUNTABILITY FOR SDG4
THROUGH CITIZEN PARTICIPATION:
KEEP YOUR PROMISES

「世界一大きな授業 2018」（実施：教育協力 NGO ネットワーク JNNE）が 4 月 14 日～6 月 30 日に行われ、幼稚園から小学校、中学校、高校、フリースクール、大学や NPO など、全都道府県の 583 学校・グループ、5 万 1,188 人が、それぞれに「授業」を行いました。一人ひとり、世界の現実を受け止め、同時に日本にある子どもたちの困難を見つめた学びとなりました。児童・生徒・学生の「考えたこと」「提言」を紹介します。

100か国以上で教育の大切さを学びあい、日本では583校・グループ、5万1188人が参加。

南島原市立大野木場小学校 ©JNNE

開智中学校（和歌山） ©JNNE

学ぶ権利があるのに、学ぶ環境がない。それは学ぶ権利を奪っているのに相当する。（神戸市立神港橘高等学校生徒）

ガールスカウト青森県第9団 ©JNNE

◆大人のケンカで幼い子どもたちが命を落としたりすることに腹が立つ。（大阪大谷大学学生）◆文字が読めないと命に関わることを感じました。（文星芸術大学附属中学校1年生）◆学校にも行けず、文字の読み書きを学んでいなかったら…と自分に置き換えて考えると不安と恐怖を覚えました。だからこそ、1人でも多くの人が学校に通えるようになったらよいと思いました。（取手市立戸頭中学校1年生）◆戦争のためにお金をつかうのは国のためだから仕方ない、というのは否定できません。ですが国のために国民の教育や人権が奪われるのは間違っていると思います。（五所川原市立市浦中学校生徒）◆教育問題は貧困問題を解決する最初のステップだと思うので、これからもっと学んでいきたい。（学習院大国際社会科学部学生）◆マララさんのスピーチを聞いて，“Education is hope. Education is peace.”という言葉が心に残りました。（バンコク日本人学校中学部1年生）

自分たちには関係のないことやと思っていたけど、めっちゃ関係があってちゃんと考えないといけないと思った。（大阪府立佐野高等学校２年生）

◆日本国内に目を向けると国内でも待機児童や貧困の問題がある、それらも同時に解決できる方法はないのだろうかと考えた。（東京女子体育大学秋山エリカゼミ学生）◆大人の人たちに、教育の大切さを説かねばならないと思う。（洛南高等学校附属中学校生徒）◆軍事費に比べ、ほんの少しのお金で世界が変わるとしたならば、日本がその先頭に立ってもらいたい。（都留第二中学校生徒）◆今のままの政策では、2030年までに SDGs の目標達成は難しいと考えます。（弥富市立弥富北中学校生徒）◆選挙に行って投票したり、手紙や電話などで議員に意見を言いたい。（大阪教育大学附属高校池田校舎生徒）◆消費税の他に〇〇税みたいなものをつくって世界のためにお金を集めていただければ、貧しい国の人々も学校に行けるようになると思うのでやってみてはどうですか。（茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校 6 年生）

新居浜工業高等専門学校 ©JNNE

戦争を８日間やめて、そのお金を教育に使うように、外国に伝えてください。（京都市立二条城北小学校児童）

子どもたちの提言のチカラ

2018 年 4 月、世界 100 か国以上で、「教育のためのグローバル・アクション・ウィーク」が行われました。今年のキャンペーンの大きなテーマは市民参加で SDG4（持続可能な開発目標 4）「質の高い教育をみんなに」が、それぞれの国政府によって、きちんと実現されるように「約束を守ってください」と声を届けることです。子どもたち、先生、お父さん、お母さんが参加しました。

©GCE

例えばパキスタンでは、村や町のみんなの力で、だれもが良い教育を受けられるように「教育に一票を！」とマーチなどを行いました。

また、ミャンマーでは、教育が行き届いていない子どもたちや大人がまだまだ多くいて、置き去りにされていること、誰にも教育が大切であることを、国内の人々に訴えかけました。

マダガスカルでは、子どもが学校に行けるようになるのはもちろん、それだけでなく大人のための読み書き教室を増やしていくことをアピールしました。

ケニアでは、教育キャンペーンのニュースセンターを開設するとともに、ナイロビ市内の広い公園で子どもたち、先生、教育省、NGO など 700 人以上が参加して、マーチを行いました。

©GCE

©GCE

大阪府立今宮高等学校 ©JNNE

©JNNE

国会議員24人が「授業」に出席。中・高生が「先生」となり、途上国への援助を表すテープを手に、教育支援の少なさを体験。

子どもたちが国会議員、政府に働きかけ！

6 月 6 日、中・高校生が国会議員に行う「国会議員のための世界一大きな授業」を衆議院第二議員会館で行いました。「生徒」となった 24 人の議員に、中・高生が工夫を凝らして準備した体験型授業を通じ、教育支援の重要性とともに、「目に見えない支援を！」と訴えかけました。授業後、多くの議員が SNS や市民集会などで報告をしています。

8 月 13 日、JNNE のメンバーと中・高校生は外務省で、松浦博司 NGO 担当大使（国際協力局審議官地球規模課題担当）と面会し、全国の「世界一大きな授業」参加者から寄せられた「首相・外務大臣への手紙」を手渡し、途上国の子どもたちへの教育援助増額を申し入れました。また、2019 年には G20 が日本で開かれ、政府と市民社会・NGO とでしっかりと教育の問題をアピールしていきましょうと話し合いました。

©JNNE

外務省の審議官に全国から寄せられた提言・手紙を渡す。

世界で、日本で、すべての人が
質の良い教育を受けられるために

来年も！　2019 年 4～6 月
「世界一大きな授業」に参加しよう！

主催：教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）　＜途上国で教育協力を行う NGO 20 団体のネットワーク＞
共催：（公財）プラン・インターナショナル・ジャパン
企画・実施：JNNE に参加する次の団体
（特活）開発教育協会　（公社）シャンティ国際ボランティア会　（公財）日本 YMCA 同盟　（公財）プラン・インターナショナル・ジャパン
（特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン　（特活）ラオスのこども　（特活）ワールド・ビジョン・ジャパン
協力：（特活）地球対話ラボ
後援：文部科学省／外務省／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／ 日本ユネスコ国内委員会／
ユネスコ・アジア文化センター／ESD 活動支援センター／SDGs 市民社会ネットワーク／国際協力機構／国際連合広報センター／
ガールスカウト日本連盟／児童労働ネットワーク
■事務局　〒154-8545　東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F　（公財）プラン・インターナショナル・ジャパン内
E メール：gce.japan.campaign@gmail.com　世界一大きな授業 URL：http://www.jnne.org/gce/